

基調講演

高橋一生（たかはしかずたか）

東京大学大学院農学生命科学研究科

■タイトル

「海洋生物学」の方向性を考える

■内容

日本海洋学会は、2021年に創立80周年を迎え、今後10年間の海洋学将来展望をまとめた総説を発表した（海の研究：第30巻5号）。これは物理・化学・生物の研究者が協働し海洋学の進むべき方向性を共に議論するという従来にはないアプローチでまとめられたものである。本講演では総説の概要を紹介するとともに、海洋学会のなかで「海洋生物学」を研究する我々が進むべき方向性について考える。



遠藤寿（えんどうひさし）

京都大学化学研究所附属

バイオインフォマティクスセンター

■タイトル

遺伝学的情報を通して探る海洋植物
プランクトン・ウイルス生態系

■内容

次世代シーケンサーを用いた超並列的な塩基配列解析技術は今や海洋生態系研究に広く普及し、微生物の分布や多様性、進化に関する知見の拡充に大きく貢献している。本講演では、海洋植物プランクトンおよびそれらに感染する巨大ウイルスの生物地理と多様性形成機構に光を当て、同手法を用いた近年の研究成果を紹介する。

